

心理学研究科

実験・応用心理学専攻

【博士前期（修士）課程】【博士後期課程】

臨床・発達心理学専攻

【博士前期（修士）課程】【博士後期課程】

- 以下の事項は「[研究科共通ページ](#)」を参照してください。

入学者受入の方針／出願方法／検定料／受験票の受け取り／試験当日の注意事項（持ち物含む）／合格発表／入学手続／学費等／個人情報の取り扱い／キャンパスマップ（集合場所）

- 出願書類（所定用紙）については**巻末**を確認してください。

2019

CHUKYO UNIVERSITY

1. 入学定員と試験区分（選抜方式）

研究科	専攻	課程	試験区分 ^{※1}	入学定員
心理学	実験・応用心理学	博士前期（修士）	一般・社会人 ^{※2} 選抜	5名
		博士後期	一般選抜	2名
	臨床・発達心理学	博士前期（修士） ^{※3}	一般・社会人 ^{※2} 選抜	15名
		博士後期	一般選抜	2名

※1…同一日程における複数の試験区分の併願不可。

※2…社会人選抜は心理学の基礎を学修済であり、現在、心理学関連の業務に就いている方へのリカレント教育を主眼にしている。

※3…臨床・発達心理学専攻博士前期（修士）課程は、入学後に発達心理学領域から臨床心理学領域へ所属を変更することはできない。

2. 出願資格

博士前期（修士）課程

試験区分	出願資格
<p>一般選抜</p> <p>実験・応用心理学専攻</p> <p>臨床・発達心理学専攻</p>	<p>次の①～⑩のいずれかに該当する者又は2019年3月31日までに該当する見込みのある者。</p> <p>①学校教育法第83条に規定する大学を卒業した者</p> <p>②大学改革・学位授与機構により学士の学位を授与された者</p> <p>③外国において学校教育における16年の課程を修了した者</p> <p>④外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者</p> <p>⑤我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者</p> <p>⑥外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者</p> <p>⑦専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者</p> <p>⑧文部科学大臣の指定した者</p> <p>⑨学校教育法第83条に規定する大学に3年以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）で、本研究科において、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認められた者</p> <p>⑩本研究科において、個別の入学資格審査により、学校教育法第83条に規定する大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者</p> <p>【出願資格審査について】</p> <p>出願資格⑥⑨⑩による出願を希望する（本研究科において出願資格を審査する必要がある）場合は、出願開始日の2カ月前までに教育学部大学院事務課までお問い合わせください。</p> <p>対象者（例）…飛び入学による出願希望者 短期大学・高等専門学校・各種学校の卒業者やその他の教育施設の修了者 外国の大学その他外国の学校で修業年限3年の課程修了者 等</p>
<p>社会人選抜</p> <p>実験・応用心理学専攻</p> <p>臨床・発達心理学専攻</p>	<p>一般選抜の出願資格を満たすほか、次の出願資格を満たす者。</p> <p>・入学時において、大学卒業後7年以上経過した者。なお、職歴の有無や内容は問わない。ただし、心理学の基礎を学修済であり、心理学関連の業務に就いている者が望ましい。</p>

博士後期課程

試験区分	出願資格
<p style="text-align: center;">一般選抜</p> <p>実験・応用心理学専攻</p> <p>臨床・発達心理学専攻</p>	<p>次の①～⑧のいずれかに該当する者又は2019年3月31日までに該当する見込みのある者。</p> <p>①修士の学位又は専門職学位を有する者</p> <p>②外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者</p> <p>③外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者</p> <p>④我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者</p> <p>⑤国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者</p> <p>⑥大学等を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本研究科が当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等の学力があると認めた者</p> <p>⑦文部科学大臣の指定した者</p> <p>⑧本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達した者</p> <p>【出願資格審査について】</p> <p>出願資格⑥・⑧による出願を希望する（本研究科において出願資格を審査する必要がある）場合は、出願開始日の2カ月前までに教学部大学院事務課までお問い合わせください。</p>

3. 入試日程一覧

日程	専攻	課程	試験区分	出願期間 ^{※2}		試験日	可否通知 発送日	入学手続締切日 ^{※3}	
				最終日 消印有効	消印有効			消印有効	必着
前期 日程	実験・応用心理学	博士前期 (修士)	一般 社会人	2018年 8月20日(月)	2018年 9月7日(金)	2018年 9月19日(水)	2018年 9月19日(水)	【第一次入学手続】 2018年 9月26日(水)	2019年 3月13日(水)
	臨床・発達心理学			8月24日(金)				9月8日(土)	
後期 日程	実験・応用心理学	博士前期 (修士)	一般	2019年 1月7日(月)	2019年 2月1日(金)	2019年 2月13日(水)	2019年 2月13日(水)	【入学手続】 2019年 3月13日(水)	2019年 3月31日(日)
	臨床・発達心理学								
	実験・応用心理学	博士後期 ^{※1}	一般	1月16日(水)	2月2日(土)				
	臨床・発達心理学					博士後期 ^{※1}	一般	1月16日(水)	

※1…博士後期課程は後期日程のみ実施。

※2…出願期間の平日（9：00～17：00）は、教学部大学院事務課窓口でも出願を受付可。詳細は、研究科共通ページを参照すること。
外国在住の方で日本国外から出願する場合は、出願期間前の受付可。事前に教学部大学院事務課に相談すること。

※3…入学手続の概要は以下のとおり。

- 【第一次入学手続】 入学金の納入のみ
- 【最終入学手続】 授業料等の納入及び入学手続書類の送付
- 【入学手続（後期日程）】 入学金・授業料等の納入及び入学手続書類の送付

4. 選抜方法

博士前期（修士）課程

一般選抜——①当日の試験（英語・心理学・口頭試問）、②出身大学の成績、③卒業論文又はこれに代わる研究成果、④研究計画 によって行います。

社会人選抜——①当日の試験（英語・小論文・口頭試問）、②出身大学の成績、③卒業論文又はこれに代わる研究成果（該当するものがない場合は除外）、④研究計画 によって行います。

博士後期課程

一般選抜——①当日の試験（英語・課題論述・口頭試問）、②出身大学院の成績、③修士論文又はこれに代わる研究成果、④研究計画によって行います。

5. 試験科目・時間等

博士前期（修士）課程

専攻	試験区分	試験時間		試験科目
実験・応用心理学 臨床・発達心理学	一般	1日目	10:00 } 12:00	英語 ・心理学英語文献の読解力を試すもの。 ・英和辞典持込可（電子辞書及びこれに類する機器の持込は不可）。
			13:30 } 15:30	心理学 ・研究科共通問題と領域固有問題により構成。研究科共通問題は心理学全般にわたる基本的学識、領域固有問題は各専門領域に特化した基礎知識を試すもの。
		2日目	10:00 [*] }	口頭試問 ・志望領域への関心と学識、入学後の研究計画等について、志望領域の教員が中心になって試問を行う。
	社会人	1日目	10:00 } 12:00	英語 ・英語文献の読解力を試すもの。 ・英和辞典持込可（電子辞書及びこれに類する機器の持込は不可）。
			13:30 } 15:30	小論文 ・志望領域に関する課題について専門的知識や論述能力を試すもの。
		2日目	10:00 [*] }	口頭試問 ・志望領域への関心と学識、入学後の研究計画等について、志望領域の教員が中心になって試問を行う。

※…口頭試問の開始時刻は、受験者数により9:00～に変更になる場合がある。なお、口頭試問の開始時刻は全体の開始時刻であり、受験生により開始時刻及び終了時刻が異なる（詳細は1日目に通知）。

博士後期課程

専攻	試験区分	試験時間		試験科目
実験・応用心理学 臨床・発達心理学	一般	1日目	10:00 }	英語 ・課題研究を行う上で必要な専門書（英語）の読解力を試すもの。 ・英和辞典持込可（電子辞書及びこれに類する機器の持込は不可）。
			12:00 }	
		2日目	13:30 }	課題論述 ・心理学的問題を総括的に論じる力量を評価するもの。
			15:30 }	
		10:00* }	口頭試問 ・自身の研究課題に即して今後の展開を中心に試問を行う。	

※…口頭試問の開始時刻は、受験者数により9:00～に変更になる場合がある。なお、口頭試問の開始時刻は全体の開始時刻であり、受験生により開始時刻及び終了時刻が異なる（詳細は1日目に通知）。

6. 試験当日集合場所・時間

1日目 — 名古屋キャンパス3号館別館5階 大学院研修室 9:30集合
2日目 — 1日目に通知

7. 出願書類

【注意事項】

- ①書類は黒色のペン又はボールペンを使用して、明確に記入してください。
- ②証明書類は3か月以内に作成されたものを提出してください。
- ③外国語で記載された書類（卒業証明書・成績証明書等）には日本語訳を添付してください。
- ④所定用紙以外の書類はA4判サイズのものを出願してください。
- ⑤出願後の出願書類の変更はできません。

書類名称	詳細
受験票 写真票 検定料払込票 【同封書類】	<ul style="list-style-type: none"> ・受験票に342円分の切手を貼付すること。 ・写真（正面上半身、脱帽、縦4cm×横3cm、3か月以内に撮影）の裏面に氏名を記入し、写真票に貼付すること。 ・検定料については、研究科共通ページを参照の上、払込手続きを行い、振替払込受付証明書（願書貼付用）を検定料払込票の所定欄に貼付すること。
宛名シール 【同封書類】	<ul style="list-style-type: none"> ・通知書発送に使用するため、郵便番号・住所・氏名を明確に記入すること。
志願書 【巻末書類】	<ol style="list-style-type: none"> ① 巻末一心理学・志願書 を使用すること。 ② 「学部・大学院在学時指導教員名」欄は、フルネームを記入すること。 ③ 「入学後の研究計画案」欄は、博士前期（修士）課程志願者のみ記入すること。 ※別紙にて提出する場合は記入不要。 ※博士後期課程志願者は別紙にて研究計画書を提出するため入学後の研究計画案は記入不要。
卒業証明書 (含見込)	<p>〈博士前期（修士）課程志願者のみ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最終出身大学作成のものを提出すること。 ※大学院を修了した者（含見込）は、その修了（見込）証明書又は学位授与証明書を併せて提出すること。

書類名称	詳細
学位授与証明書 又は修了証明書 (含見込)	〈博士後期課程志願者のみ〉 ・最終出身大学院作成のものを提出すること。
成績証明書	〈博士前期（修士）課程志願者〉 ・最終出身大学作成のものを提出すること。 ※大学院を修了した者又は修了見込の者は、その成績証明書も併せて提出すること。 〈博士後期課程志願者〉 ・最終出身大学院作成のものを提出すること。
論文	〈博士前期（修士）課程志願者〉 一般選抜志願者 ①卒業論文又はこれに代わる論文（必要に応じて図や表を含めてよい）を提出すること。 ②提出論文には別紙にて要約（1,500字程度）を添付すること。 ③前期日程志願者のうち、2019年3月卒業見込で卒業論文未完の者は、別紙にてその論文の概要（2,000字程度）を提出すること。 ④卒業論文を作成していない場合は、別紙にその旨を記入し提出すること。 ※上記①～④いずれもコピー可。返却はしない。 社会人選抜志願者 ・参考資料として、卒業論文又は大学卒業後に作成した論文等があれば、その要約（1,500字程度）を提出すること。 ※コピー可。返却はしない。 〈博士後期課程志願者〉 次の①～③を提出すること（②は該当するものがあれば提出）。 ①修士論文又はこれに代わる業績（修士論文作成中の場合は修士論文要旨、字数指定なし）。 ②学術雑誌・紀要・学会発表論文集等に掲載された業績。 ③上記の業績目録（別紙にて提出）。 ※上記①～③いずれもコピー可。返却はしない。
出願理由書	〈博士前期（修士）課程 社会人選抜志願者のみ〉 ・書式自由、1,500字程度。
研究計画書	〈博士後期課程志願者のみ〉 ・書式自由、4,000字程度。
戸籍抄本等	〈証明書等の氏名と現在の氏名が異なる場合のみ〉 ・氏名の変更を証明できる書類（戸籍抄本等）を提出すること。

以下は外国人留学生のみ提出してください。

ここでいう外国人留学生とは、出入国管理及び難民認定法において定める在留資格「留学」を有する者、又は入学時に得る予定である者を指します。

書類名称	詳細
日本語の学力に関する書類	・日本語の学力を客観的に証明できる者（指導教員等）が作成・発行した成績証明書を提出すること。 ※日本の大学を卒業した者（含見込）及び大学院を修了した者（含見込）は提出を免除。
住民票	・外国人登録をしている市役所や区役所で取得できます。志願者本人の在留期間・在留資格が表記されていて、出願前3カ月以内に発行されたものを提出すること。 ※在留期間については、最低限、試験日まで含まれるように申請を行っておくこと。 ※窓口にて出願する場合は、本学職員が「在留カード」の両面コピーを取ることで、これに代えることができる。
身元保証書 【巻末書類】	・ 巻末一身元保証書 を使用すること。 ※保証人が自筆で署名し、捺印したものを提出すること。 ※保証人は日本に居住し独立して生計を営んでいる者で、中京大学外国人留学生として日本に在留中の本人に関するすべての事項について保証できる者とする。
パスポートの コピー	・顔写真のページのコピーを提出すること。

8. 教員組織

心理学研究科長 尾 入 正 哲

博士前期課程 (修士課程)	担当領域	職位	氏 名	主要研究テーマ
	実験心理学	教授	鬢 櫛 一 夫	視覚のメカニズム
	〃	〃	近 藤 洋 史	実験心理学、認知神経科学
	〃	准教授	高 橋 康 介	認知心理学、認知科学、認知神経科学
	応用心理学	教授	向 井 希 宏	産業心理、技能習熟
	〃	〃	尾 入 正 哲	環境心理学、組織と安全
	〃	准教授	松 本 友 一 郎	組織心理学、職場の人間関係
	臨床心理学	教授	坂 井 誠 *	行動療法、認知行動療法
	〃	〃	永 田 法 子 *	学校教育臨床、心理療法
	〃	〃	神 谷 栄 治 *	心理アセスメント、心理面接
	〃	〃	馬 場 史 津 *	心理アセスメント、心理療法
	〃	准教授	明 翫 光 宜 *	発達障害、心理アセスメント、心理療法
	発達心理学	教授	水 野 里 恵	発達心理学、気質、パーソナリティ
	〃	〃	小 島 康 生	家族発達行動学
〃	准教授	川 島 大 輔	生涯発達心理学、死生学、自殺予防学	

博士後期課程	実験心理学	教授	鬢 櫛 一 夫	視覚のメカニズム
	〃	〃	近 藤 洋 史	実験心理学、認知神経科学
	〃	准教授	高 橋 康 介 ★	認知心理学、認知科学、認知神経科学
	応用心理学	教授	向 井 希 宏	産業心理、技能習熟
	〃	〃	尾 入 正 哲	環境心理学、組織と安全
	〃	准教授	松 本 友 一 郎 ★	組織心理学、職場の人間関係
	臨床心理学	教授	坂 井 誠 *	行動療法、認知行動療法
	〃	〃	永 田 法 子 *	学校教育臨床、心理療法
	〃	〃	神 谷 栄 治 *	心理アセスメント、心理面接
	〃	〃	馬 場 史 津 *	心理アセスメント、心理療法
	〃	准教授	明 翫 光 宜 **	発達障害、心理アセスメント、心理療法
	発達心理学	教授	水 野 里 恵	発達心理学、気質、パーソナリティ
	〃	〃	小 島 康 生	家族発達行動学
	〃	准教授	川 島 大 輔	生涯発達心理学、死生学、自殺予防学

*…臨床心理士有資格者

★…指導教員として選択できません。

※上記は、2018年5月現在の教員組織です。

各教員の研究分野については、別冊子『中京大学大学院案内』を参照してください。